

期待を裏切らない観光を

市観光まちづくり推進委員会
これからの柳川観光のあり方を提言



市長に提言をまとめた資料を手渡す千会長（右）

柳川市観光まちづくり推進委員会（九州産業大学商学部長千相哲会長）が、来年度から3年間の観光まちづくりに向けた「選択と集中プラン」をまとめ、11月10日、市に提言しました。

同委員会は、観光の専門家や市内の各種団体の代表14人で構成され、7月に組織。4回の会議を重ね平成21年3月に策定した柳川市観光振興計画の進み具合を評価し、社会情勢の変化を踏まえた柳川らしい観光のあり方について協議がなされました。

同委員会では、柳川観光の根幹となる絶対的な価値観は「水郷柳川」であると結論。千会長は、▷掘割をきれいにする事業▷市民と観光客双方にとって心地よい空間づくり事業▷柳川観光地域づくりプラットフォームづくり事業▷柳川まち歩き博覧会（仮称）の開催の4つの最重要課題などをあげ、訪れた観光客を裏切らないまちづくりや、民間団体の連携と観光情報の一元化などを担う組織づくりを提案しました。



柳川ブランド認定品も購入できます



開店を前に11月16日には商品を納入する業者への説明会が行われた

店休日 12月29日～1月3日
駐車場 柳川商店街第1駐車場をご利用ください（無料駐車券進呈）
開店イベントのお知らせ
開店イベントとして、おいでメッセ柳川で販売する商品の大試食会のほか、柳河小学校の児童による子どもどろつくどんが披露されます。さらに、当日買い物をした人のうち先着で100人に、当店で使える金券をプレゼント。ぜひおいでください。
日時 12月3日（土）、午前10時30分
会場 マルシヨク跡地
問い合わせは、市柳川ブランド推進室（☎77・8722）まで。



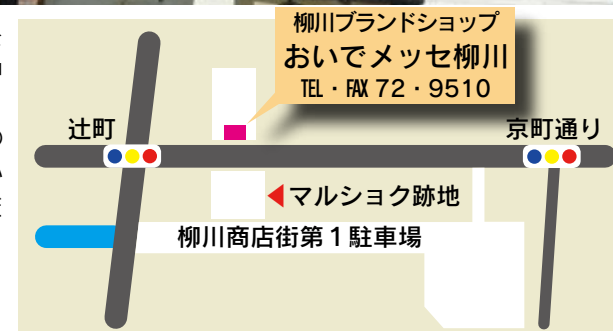
びっしりと実が付いたピーナッツを持って記念撮影

からいもとピーナッツ採れました

体験型観光の受け入れを目指す「よかばんも～おいでん会」は11月6日、中山の畑でからいも（サツマイモ）とピーナッツの収穫体験をしました。もともとこの催しは10月30日に開催予定でしたが、雨のためこの日に延期。当日も午前中に雨が降ったため予定を変更して、まず、だご汁とふかしイモ、ゆでピーナッツで腹ごしらえした後に収穫体験をしました。参加したほとんどの人がピーナッツが栽培されているところを見るのは初めてとあって、土の中から実が出てくる様子にびっくりしていました。



▲販売スタッフの3人を紹介します。右から田中優子さん、内田孝彦店長、山田明美さん。「柳川の新しい魅力を発信していきます。ぜひ来店ください」と内田店長



ブランド認定品や特産品が勢ぞろい
市は柳川商店街のマルシヨク跡地正面のマンションの1階に、柳川ブランドショップ「おいでメッセ柳川」を12月3日に開店させます。お店の名前は、いらっしやいませの柳川方言「おいでめせ」と、ドイツ語で見本市や展示会を表す「メッセ」を組み合わせたものです。
販売する商品は、これまで柳川ブランド化を進めるために取り組んできた、柳川ブランド認定品やうまかもんづくりぐつちよで開発された商品を中心に、市内で生産・製造される特産品です。市内の30以上の事業所や生産者組織などが商品を納入し、柳川を代表する産品がすべてそろいます。また、収穫体験など柳川の新たな魅力を発信し、市民も思うことができる店づくりをしますので、ぜひお立ち寄りください。
営業時間 午前10時～午後7時



ここに来れば柳川の特産品がすべてそろいます
柳川ブランドショップ
おいでメッセ柳川
12月3日 土 午前10時30分オープン

柳川の風景と味覚を満喫



ガイドの説明を聞きながらまち歩きを楽しむ参加者

柳川ブランド推進協議会は、まち歩きをしながら柳川ブランド認定品を味わってもらおうと11月13日、「うまかもん&まちあるきはよかばんも～」を催しました。催しには福岡市などから19人が参加。2班に分かれガイドの説明を聞きながら、水辺の散歩道や昔ながらの建物が残っている小路と呼ばれる街角を散策しました。途中でブランド認定品が販売されている店舗に立ち寄り認定品を試食。店員さんに商品の特徴や食べ方などを聞き、買い物を楽しみました。